



信濃教育会報

第1114号

令和6年4月15日発行

目次

第27回「教育研究論文・教育実践賞」 審査結果報告……………2~4	各種募集のご案内……………8
各種助成のご案内……………5	絵画寄贈について……………9
教育研究所だより……………6	新会長選定までの経過……………9
5月の研修ガイド……………6	職員の変動について……………9
災害見舞金ニックネーム募集……………7	パッケージ事業「笑顔」のご案内……………10
ホームページ等活用のお願……………8	100年館の絵……………10

大目方貞一新会長就任



会長就任にあたり

本年4月より、信濃教育会会長に就任しました大目方貞一です。もとより非力な私ですが、これまで導き育ててくれた信濃教育会への御恩返しのため、会長職をお引き受けいたしました。会員の皆さんの願いを受け止め、与えられた任を全うしてまいります。

さて、武田育夫前会長は在任中、新たな信州教育の創造に向け様々な改革をして来られました。今後も改革路線を堅持しつつ、本会事業の充実・発展に努めてまいります。長い歴史と伝統のある信濃教育会ですが、現会員の皆さんのための職能団体です。目の前の子どもたちの健やかな成長のために、皆さん方と共に歩んで参ります。

私たちは、どんなに研鑽を積んでも十分であることはありません。常に不十分な自分を自覚することで、子どもたちの成長の傍らに身を置くことができると思います。そして、至らない自分ゆえに学び続けることで、子どもたちの可能性や個性を伸ばすことができます。

私が卒業した小学校は、明治の創立時には「日新館」という名称でした。当時、校長先生から、旧校名「日新」の由来として「日に日に新たにして、又日に新たなり」という言葉を紹介されました。その後知ったことですが、これは、中国の古典「大学」に出てくる言葉で、日々新たな気持ちで学び続ける大切さを伝えているようです。子どもの前に立つ私たちにとっては、心したい言葉として今でも大事にしています。

「日々新たな自分」を求めていく自分磨きの一助として、信濃教育会の諸事業を大いに活用していただくことを願っています。

令和5年度 第27回「教育研究論文・教育実践賞」 審査結果報告

第27回「教育研究論文・教育実践賞」の審査が終了しました。多数のご応募ありがとうございました。

特選論文は、雑誌「信濃教育」7・8月号に掲載いたします。また、7月6日（土）第138回信濃教育会総集会北安曇大会において「特選」受賞者の動画発表、入賞者によるポスターセッションを予定しています。

なお、令和5年度は松本市養護教諭部会Bブロック会に「特別賞」を贈賞いたしました。受賞理由は不登校児童への保健室の役割を広域の養護教諭で共有し、事例研究や研修を重ね課題解決に向けて丁寧に取り組んだ実践であり大変示唆が多いと評価されました。

【審査員】

西 一夫（代議員会代表・信州大学教育学部教授） 工藤 信一（信濃毎日新聞社論説委員）
野口 茂雄（常任委員会代表・緑ヶ丘小学校長） 小野 英子（幹事会代表・豊野西小学校長）

【応募総数及び入賞者の内訳】

賞	個人の部	グループの部	合計
特選	1	1	2
準特選	2	2	4
入選	7	3	10
特別賞		1	1
佳作・奨励賞	79	30	109
合計	89	37	126

【総評】 審査員長 西 一夫

第27回「教育研究論文・教育実践賞」の募集に対して、今年度は個人の部・グループの部あわせて126件の応募をいただきました。昨年の5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴って、教育活動が本来あるべき姿へと回復してきたことを、個々の研究論文を通して実感します。これまでの不自由な環境の中で、教員はもとより児童・生徒もさまざまな工夫をしながら教育活動が継続されました。そうした経験が新たな発想や視野の広がりをもたらし、これまでとは異なる教育実践として結実しているのだと言えます。新たな発想や視野の広がりをもたらした要因は、長年にわたって醸成された信州の教育風土と教員の矜持とにあるのでしょうか。

このような豊かな稔りは、これまでとは異なり、新たなステージに至ったと思われれます。論文題目には「DX」「探究的」「主体」等の語が見られ、さらには今日的な教育課題にも目配りがなされています。

「DX」のみならずICT等はGIGAスクール構想が示され、加えて新型コロナウイルス感染症の蔓延による教育活動の停滞が、意識改革や指導方法の改善として一気に展開しました。また「探究的」「主体」やコンピテンシー等は、現行の学習指導要領における教育観の転換が教育実践として昇華したといえます。さらには、多様性の受容という視点は、制服等の既存の制度・価値に対する見直しを、生徒自身が問い直す実践として展開しました。

教育環境は多くの課題を抱えています。学びの環境は変化しながらも、教育は人と人とのかわりにおいて成立し、深まるのだと言えます。仮想空間と現実空間との関係性を上手く活用しながら、人へ思いを伝え、人に寄り添う気持ちを育むことが教育の本質的な使命の一つであると思います。

【後援】長野県教育委員会 長野県市町村教育委員会連絡協議会 長野県小学校長会 長野県中学校校長会
長野県特別支援学校校長会 長野県高等学校長会 長野県PTA連合会 信濃毎日新聞社

特選／個人の部

生徒会が創る「東中 DX 宣言」

～主体的で“対話的な学び”をコーディネートする～

仙波 歩（駒ヶ根市立東中学校）



本校では、タブレット端末の使い方を生徒自身が考え、表明する「東中 DX 宣言」を作成しています。生徒会活動を学びの場として捉え、自らの指導の省察を行いました。本実践を多くの方に知っていただけたら幸いです。

【講評】小野 英子

「東中 DX 宣言」と銘打ち、生徒会が中心となって生徒自身がクロムブックの使い方を考えていく取り組みを継続して行った実践についての論文。

「主体的で対話的な学び」を特別活動である生徒会活動でも大切に、それをどうコーディネートするかに重点を置き、進めた研究である。ICT 活用にまつわる問題の行動に端を発し、使い方を規制するのではなく、生徒会及び全校生徒が主体的に考え対話を通して「東中 DX 宣言」を作っていく過程において、一貫してスチューデントファーストの姿勢でコーディネートしていることが伝わってくる。

生徒会の「東中 DX 宣言」は「ルールや決まりではない」との思いと、全校生徒の「ルールを掲げたものである」という認識のずれをいかに埋め、「ルールへの意識」からの脱却へと進めたかが示され、宣言を ver1.0 から ver3.0 まで 3 年間に渡り作り続けたことにより一過性のものではなく試行錯誤の中で継続した深い学びを得ている。

また、生徒同士の対話、生徒と教師との対話、地域（専門家：ここでは、駒ヶ根市 DX 戦略室）との対話へと広がりスパイラルに深まっていく経緯が表や図式化され分かりやすく表現され、変わりゆく学校の姿をより明らかにしている点も審査会において高評価であった。

重きを置いてきた「対話的な学び」をコーディネートする「タイミングや方法の見極め」の妙に我々も学ぶところが大きい。

特選／グループの部

子どもが主体となる制服検討の取り組み

制服検討委員会（箕輪町立箕輪中学校）



制服検討に取り組む中で、「子どもを主体に」と考えずとも自然に「子どもが主体」となる営みが生まれました。真剣に制服のことを考える箕輪の子どもの姿を知っていただければ幸いです。

【講評】野口 茂雄

子どもが「制服の意味」を問うことを学びの柱に据え、2年以上の試行錯誤を経て、学校が願う「自立した生徒」として育っていく過程を記した実践である。

制服の有無ではなく、制服の意味や内容を、子どもが精一杯考え、調査し、関係者へ働きかけていく制服検討委員会の軌跡が、統計資料や記録に基づき論じられている。同委員会発足当初の段階では、生徒会アンケートの結果、制服の機能面だけでなく、制服が学校の伝統や誇りであるといった校内にとどまっていた。やがて制服検討子ども会議に発展し、将来の利用者である小学校4年生以上の子どもや、70名を超える保護者等もかわり「制服の意味」の検討が一層深められている。

制服は箕輪中学校生徒のプライド、思いの結晶体であり、まさに箕輪中生徒の象徴（シンボル）であるという段階にまで至っている背景に、教師集団や関係者の姿勢である、子どもに委ね育てる姿勢が随処に垣間見られる。令和7年度の制服移行に向け、検討継続が予定されており、この過程で獲得してきた自治的姿勢が子どもの中で引き継がれ、子どもの中で子どもが育つ様子が語られる。

子どもを主体とした学びを、段階的に構成して「自立した生徒」を育てている様子は、題材が制服問題であるものの、これからの学びや学校創りの観点から、生涯にわたりたくましく学び続け、将来を切り開く力の育成ということから未来志向であり、明るい展望を感じさせる。このような点からも本実践は、これからの教育のあり方について、学校規模にかかわらず、どの学校にとっても示唆に富む内容であり参考になるものである。

準特選

自由進度学習 はじめの一步 ～学習者が自律的に学ぶ姿を求めた3年間～

蟹澤 和哉（千曲市立五加小学校）

- 【評】 子どもが主体の「自由進度学習」を日々の授業でどう具体化するか。課題が明確で、3年間にわたる実践を通して省察を重ね、研究を深めている点が評価された。論文としてもよくまとまっている。教職大学院での海外実習の体験を現場での実践につなげたことも意義がある。授業の中身が具体的に分かるとなお良かった。図表が小さくて分かりにくいのがもったいない。

探究的な学習「活動が活動を呼ぶ」題材の展開方法 ～そば粉の副産物を活用した商品開発～

伊藤 拓（松本市立奈川中学校）

- 【評】 全校生徒8人の小規模校で、全学年合同で取り組んだ総合学習である。特産のそば粉の副産物「2番粉」が廃棄されていることを知り、手探りで商品開発に取り組む。地域の大人たちや大学の研究者の協力も得て、「チュロス」として商品化にこぎ着け、「探究」と呼ぶにふさわしい実践になった。次々と出てくる課題を乗り越えていく生徒たちの姿に、学びの醍醐味が伝わる。

「校内支援委員会の充実」の視点から通常の学級の学びの充実をめざす

高瀬小学校職員（佐久市立高瀬小学校）

- 【評】 静かで目立たないために、支援を必要としていながら見過ごされがちだった子どもの存在を可視化し、担任だけでなく学校としてどう支えるかを探った。学校教育のあり方を新たな視点から問い返すことにもつながる意義ある実践だ。まだ1年目なので、そこでつかんだ成果と課題を踏まえ、どれだけ確かなものにしていくか。もう少し経過を見たい。あと一つ、教員名はA、Bといった表記でなく具体名を出すべきだと思うが、どうか。

お蚕様の生糸が紡ぐ総合的な学習の時間の実践 ～シルク灯籠完成までの道のりとその発展活動～

総合的な学習の時間推進チーム（長野市立七二会小学校）

- 【評】 試行錯誤を重ねながら課題を乗り越えていくことの醍醐味、「学ぶ」ということの面白さが伝わる実践報告だ。生糸を巻き取る仕掛けをはじめ、次々と新たな発想が生まれ、子どもたちの生き生きとした様子が見えてくる。ただ、論文としてのまとめ方には、もう少し工夫の余地があったか。やや具体性や説得力を欠いた感がある。

入 選

- 実践を物語ること 森田 明彦（佐久市立平根小学校）
- 「子どもの一歩先を行く」とは
～子どもたちと先生方から教わった私の宝もの～ 小林 有菜（小諸市立美南ガ丘小学校）
- 探究的な学びの中で、自らを問い直し続けていく子ども
～多様な思いを発揮する2年間の生活科の学習を通して～ 片岡 聡矢（富士見町立境小学校）
- 探究的な学びとICTのベストミックスによる、創造性を育む授業の実現
～NIEと創造性を引き出す学習ソフトを利用して～ 林 秀星（駒ヶ根市立東中学校）
- コンピテンシーを育成する学びをいかに構想するか
～パフォーマンス課題「私たちは原爆投下をどのように記憶すべきか」を事例に～ 篠原 敏紀（野沢温泉村立野沢温泉中学校）
- 「伝えたい！わたしたち（こども）の権利」の実践 中村 広登（長野市立長野中学校）
- 子どもたちが「やりたいことをやりたい方法でやりきる」ことの意味を追って
～3年1組の子どもたちとの総合的な学習の実践から～ 小嶋 徳仁（松本市立田川小学校）
- 主体的に学びを創り出す子どもの育成—個人総合（マイプロ）を通して— 南木曾小学校研究部会（南木曾町立南木曾小学校）
- 探究的な学びの実現に向けたプロジェクトYの取り組み プロジェクトY重点研究グループ（山形村立山形小学校）
- 誰一人取り残されない学びの保障に向けたチーム鍋屋田「まなびプロジェクト」
～「サポートチームまなび」を学校の柱に～ 令和5年度研究部（長野市立鍋屋田小学校）

特別賞

- 小学校における保健室登校の子どもに対する支援のあり方 松本市養護教諭部会Bブロック会（松本市立鎌田小学校）

応募型研究助成

会員の自主的な研修・探究心を後押しします

昨年度の会員アンケートからは、本事業について「ありがたい事業。気軽に応募や活用ができる」「自己研修の場が保証される。有効に活用している」と好評をいただいています。一方、この事業について44%の方が“知らない”と回答されていました。「もっと周知してほしい」というご意見もございました。リーフレットや会報、ホームページでご案内しておりますので大いにご活用ください。

なお、R5年度の助成の実績については会報1113号（R6，3月）に報告されていますので参考にさせていただきます。

短期視察研修補助

- 補助金は、会員本人への補助
1日15,000円を基本額とし以後1日につき5,000円を増額します。

自主的校内研修補助

- 学校独自に行う研修への補助
補助金は、1校10,000円+20,000円×会員率（会員数／県費教職員数）
講師（校内講師は対象外）謝礼、資料作成等、研修に必要なものへの支出

学び続ける教師への助成

- (1) 学術的な研究調査に励む教師への助成
対象は、自然科学や人文科学、保健衛生学や疾病等の医科学などにかかわるもの、
研究調査に必要な機材・資材や関係文献・書籍購入費、資料作成費等に助成します。
1件上限5万円
- (2) 子どもたちの探究的な学びを実現する教師への助成
対象は、教師が主導して活動が展開していく学習ではなく、子どもたちが課題を見つけ、考え、判断していく内容とします。
1件上限5万円

● 申込みについて

信濃教育会 HP のトップページの上のメニュー「研修補助金」にカーソルをあてていただくとプルダウンメニューとなります。それぞれの実施内容や申請書類等がご覧になれます。



※「自主的校内研修補助事業」は7月末日までに申込書を提出下さい。「学び続ける教師への助成事業」及び「短期視察研修補助事業」は予算額が終了した段階で申込みを終了と致します。

会員アンケートより

遠くまでの研修，大変に助かりました

会員の自主的な研修を力強く後押しする事業。ぜひ継続をお願いしたい。

申請や報告書が簡単でありがたい

自己研修の場が保証されるのでありがたい

教育研究所だより

教育実践の『振り返り』と『学び合い』

令和6年度 創設78年目を迎え、

新しい研究員の研究が始まりました

第78期研究員の先生方6名を迎え、下記研究テーマに基づき研究に取り組みます。

第77期研究員の先生方6名は、教育現場に戻り、実践研究に取り組んでいます。



第77期 研究員紹介

① 趣味 ② 愛読書

テーマA

子どもの学びが深まる授業づくり



朝倉明日香

- ① 踊ること（新体操）、ピアノ、ドライブ
- ② 『せんせい。』
重松 清



畔上 洋太

- ① カラオケ
- ② 『私が一番受けたいココロの授業』
比田井和孝
比田井美恵



田原 祐希

- ① 野球
- ② 『学力の経済学』
中室牧子

テーマB

今日的な課題に対応する多様な学び



池森 潤

- ① 子どもと一緒に遊ぶこと
- ② 今読み始めたのは『言語の本質』
今井むつみ・秋田喜美



北村 香織

- ① バドミントン
- ② 吉本ばななさんの作品



長尾小百合

- ① 温泉巡り、美術館巡り、陶芸、服を選ぶ、おいしいもの巡り
- ② 『春の雪 豊穡の海（一）』三島由紀夫

5月の研修ガイド

- 11日（土）●北安曇教育会総集会 ◎大町西小学校 体育館 ※講演はオンライン ◇「ICTによる授業改善と校内研修の改革」前田康裕（熊本大学特任教授）☆北安曇教育会 0261-22-0440
 - 17日（金）●総研修会「仰望の日」 ◎長野県伊那文化会館 大ホール ◇「自分を支える心の技法（仮）」名越康文（精神科医）☆上伊那教育会 0265-72-3416
 - 18日（土）●下伊那教育会総集会 ◎飯田文化会館 ◇「なな転び八起き～いま、わたしが伝えたいこと～」◇高木菜那（元スピードスケート選手 平昌オリンピック金メダリスト）☆下伊那教育会 0265-52-0808
 - 公益社団法人東筑摩塩尻教育会講演会 ※一般財団法人塩尻市文化振興事業団との共催 ◎塩尻市文化会館レザンホール大ホール ◇「東筑摩塩尻教育会と物ぐさ太郎像」青柳直良（平成12年度東筑摩塩尻教育会長）☆東筑摩塩尻教育会 0263-32-1187
 - 更埴教育会総集会 ◎更埴教育会館とオンライン ※ハイブリット開催 ◇松山大耕（臨済宗妙心寺 退蔵院 副住職）等 ☆更埴教育会 026-272-0247
 - 令和6年度総集会 ◎長野上水内教育会館（参集およびオンライン）◇教育対話「自律した学習者の育成～学びのその先へⅡ」パネラー：岩川直樹（埼玉大学教授）、武田育夫（長野県教育委員会教育長）、長野上水内教育会 Ed カフェ委員 ☆長野上水内教育会 026-226-2458
 - 24日（金）●第1回講師研修会 ◎長野上水内教育会館 ◇未定 ☆長野上水内教育会 026-226-2458
- 名称 ◎会場 ◇演題・講師等（講師名敬称略） ☆連絡先

もしも！の時のみんなの【災害見舞金（さいがいみまいきん）】



あの…

【災害見舞金】って名前、ピンとききますか？

「災害見舞金」は、会員の皆さんが教育会の用務中かどうかにかかわらず、不慮の事故で怪我をしたり、災害にあたりした場合等に、「お互いに助け合おう」の精神からできた事業です。だからこそ皆さんにもっと知ってもらいたい。いざというときに使ってもらいたい。そのために【ピンとくる・親しみやすいニックネーム】を募集します。

皆さんのアイデアをどしどしお寄せください！

- 応募資格…信濃教育会員
- 応募×切…令和6年7月末日
投票期間…令和6年9月～12月
- 当選発表…令和7年1月
- 応募方法及び選考方法



- 1) 応募は個人またはグループで行ってください。
- 2) 信濃教育会 HP 記載の Google フォーム（左にあります QR コード）からご応募ください。
- 3) 応募いただいた中から選考委員会で最終候補 10 点にしぼり、信教 HP に掲載し、会員の投票により採用 1 点・次点 1 点を決定します。投票は、HP 内の Google フォームで行います。当選発表は HP または会報などでお知らせします。

□ お問い合わせ…信濃教育会災害見舞金ネーミング選考委員会
〒380-0846 長野市旭町 1098 TEL：026-232-2470

01 POINT

QUO カード
採用…5,000 円分

02 POINT

QUO カード
次点…3,000 円分

03 POINT

最終候補 10 点
QUO カード 1,000 円分

応募は、上記 QR コードから信濃教育会HPに入り、Google フォームからお願いします。
4月～5月に行われる各教育会の代議員会（総会）でも説明します。
個人またはグループでどしどし応募してください。会員の皆さんのアイデアをお待ちしています。

ホームページ, SNS, YouTube 等をご活用ください



ホームページ

最新のご案内はトップページ「お知らせ・ご案内」から、各種申し込みは、トップページ下部「各種申し込みはこちら」からご覧いただけます。

「会員のページ パスワード」は信濃教育会報 1114号紙面をご覧ください

\\ New //



YouTube

信教の YouTube チャンネルが開設されました。
チャンネル登録をお願いします。



Facebook

信教会長の Facebook です。信教の事業の様子をきめ細かに発信しています。



インスタグラム

信教若手職員が日々最新の情報を発信しています。



メール配信

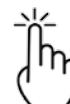
研修会や講座等の情報をメールにて配信いたします。ご希望の方は上記 QR コードよりお申し込みください。

公募委員, 講座・講習等の募集申込みが始まりました!!

内 容 (実施日)	申込み〆切
■公募型研究調査委員 「新しい時代の教育」研究調査委員会 「探究的な学び」の研究調査委員会 ICT 研究調査委員会	5/2 (木)
■講座・講習 (5・6月実施) 基礎講座「合唱」(5/11) 基礎講座「オーケストラ」(5/25, 6/29) 臨地講習「ホースセラピー」(6/29)	4/19 (金) 5/10 (金) 6/10 (月)
■信濃教育会総集会「ポスターセッション」発表 (7/6)	4/30 (火)
■土曜公開講座①スプリングセミナー (5/18)	5/13 (月)
■「極意」伝承道場 (6~12月)	5/17 (金)

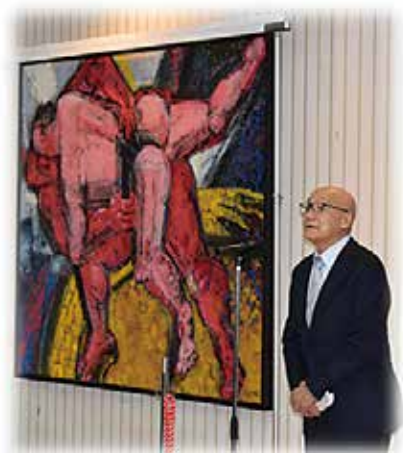
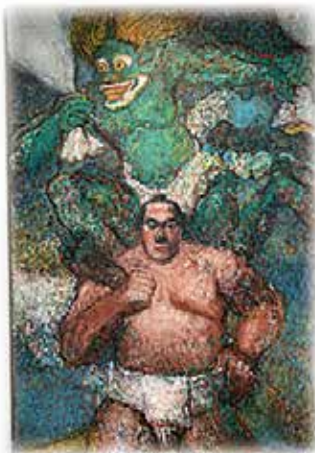
詳細は信濃教育会ホームページのトップページ下部「各種申し込みはこちら」からご覧ください。

各種申し込みはこちら >



信州美術会会長 米津福祐さんから絵画を寄贈していただきました

米津さんは上田市出身。大正時代に、山本鼎が提唱した自由画運動。手本の模写が主流だった当時の図画教育に異を唱え、自分の目で見て感じたものを描くことが大切であるという自由画運動の中心が上田の地でした。米津さんは、ご自身の小学校、中学校、高校で自由画運動に携わった先生との出会いがその後の人生に大きな影響を及ぼしたと言います。絵のモチーフは雷電為右衛門。2枚を講堂に、1枚を4階廊下に掲示させていただきました。恩師に導かれての米津さんの人生、信州が生んだ名力士の力強さを味わっていただければと思います。



▲除幕式で挨拶 米津さん

大日方貞一新会長選定までの経過

令和6年3月2日に開催された第7回理事会において、武田育夫会長（当時）の辞任が承認された。武田育夫会長の辞任を受け、同日の理事会において新会長選定の方法について協議を行った。

それを受け、常任委員で構成する役員候補選出委員会を開催し、新会長候補者の選定を行い、総会に提案した。総会による選任は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条に基づき、書面決議による方法によって行い、新会長候補者として大日方貞一氏が全代議員同意により選任された。

令和6年3月21日に臨時理事会を開催し、定款第22条第3項に基づき、総会により選任された新会長候補者を選定する方法により、大日方貞一氏が選定された。

信濃教育会職員の異動についてお知らせします。

退任

武田 育夫（会長）

塩野入幸隆（事務局次長）

北村 康彦（雑誌図書編集部部长）

新任



海沼 敦
事務局次長



松島 則行
信濃教育会教育研究所部長
兼信濃教育会生涯学習センター部長



林 理恵
雑誌図書編集部部长

内部異動（前任）

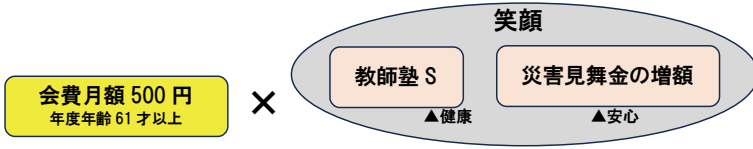
事務局次長 原 文章（総務・会計部部长）

総務・会計部部长 清水 恒善（研究調査部部长兼信濃教育博物館部長）

研究調査部部长兼信濃教育博物館部長 竹内 淳（研究調査部部长兼信濃教育会教育研究所部長）

年度年齢61才以上となる皆様 引き続き会員として共に学びましょう

「健康」をサポートする教師塾Sと「安心」をサポートする
災害見舞金の増額をパッケージ事業「笑顔」といたしました。



61才以上といってもまだまだ現役！皆さまのお力が必要で
す。実年世代の会員にとりましても魅力的な信濃教育会事業と
してまいりたいと存じます。会費の改正と教師塾Sでリフレッ
シュ！楽しみましょう！これまで同様、会員であれば信濃教育
会のすべての講座・講習、研修会にご参加いただけます。

NEW 講座

教師塾Sのご案内

50才後半の方を対象（61才以上の方優先）

東北信地区

上田市で 10/5（土）開催！
明日も元気に！実年のためのミニ歌集
& 熱唱！昭和歌謡

- ★上田北国街道
- ★うた&ギターの「アルペジオ」
- ★魅れ！若き情熱！笑いと涙の4時間



中南信地区

山形村で 10/26（土）開催！
唐沢そば集落を訪ねて
食と運動とお蕎麦のお土産つき
心身ともに健康生活を！

- ★手打ち蕎麦（昼食）
- ★道祖神巡り
- ★蕎麦打ち体験



信濃教育

予告



私の「学級づくり」

四年生で初めて彫刻刀を使い、木版画に挑戦しました。彫刻刀を走らせる方向や長さ、彫る深さなど、手先で色々な調整をしながら丁寧に彫り進めました。

題材は自分の顔です。輪郭を正確に捉え、細かいところまで注意を払い、版木に向かいました。彫りの向きの工夫で得られた顔の立体感、口から覗く

歯の白さ、眼鏡の奥の目の輝き、髪の毛の柔らかさなどが緻密に表現されています。背景にも本人の感性が遺憾なく発揮されています。周囲を放射状に彫りながらも、その外側は比較的簡素な模様とすることで、自分の顔がより浮き立つように見えます。

四年生の「自分」が輝きをもって表現されている作品となりました。

指導者
笹井 茂則（安茂里小学校）

100年館の絵

令和5年度 永年保存作品
今を生きる子どもの絵



「今の自分」

大坪 伊織（安茂里小四年）

信濃教育博物館所蔵

「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。



公益社団法人
信濃教育会

〒380-0846 長野市旭町 1098 TEL 026 (232) 2470
URL <https://shinkyō.or.jp> ✉ shinkyō@shinkyō.or.jp
編集兼発行人／大日方貞一

